



蛇口から暮らしの

6月1日▶7日水道週間

メロディー「水の音」

水をつくる

水道の蛇口をひねれば、いつでもきれいな飲み水が出てきます。この便利さに慣れて、わたしたちは水の大切さを忘れてがちです。米代川から汲み上げられた水は山館にある浄水場に運ばれます。水は、沈でん池、ろ過池を通りゴミや小石、砂が取り除かれ、さらに消毒されて安心して飲めるきれいな水につくりかえられています。そして配水池に蓄えられた後、皆さんのご家庭に送られているのです。

雨水に始まって家庭の蛇口に至る「水の旅」は、多くの人の力と多額の費用を要する設備に支えられているのです。水道は便利ですが、水は天からのもらいもの、と言われてきましたが、今では「水はつくられるもの」です。便利な水道をじょうずに使いましょう。

▼水道の水一立方メートル(一トン)をつくる費用は——二百六十円

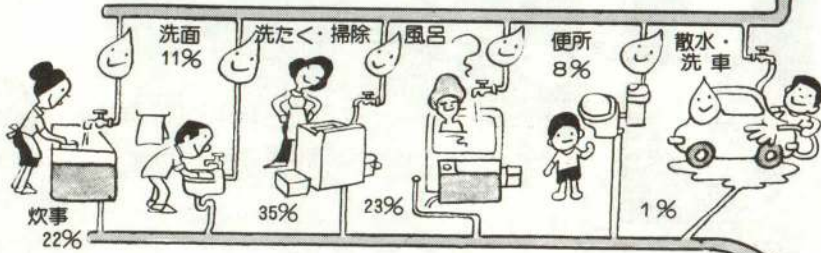
- 施設拡張工事費借入金 百八円
- 支払利息 六十円
- 施設、機械などの減価償却費 六十円

水道は、わたしたちの健康を守り、生活を豊かにするため一日も休むことなく活動を続けています。しかし、わたしたちは水道の便利さに慣れて、ややもすると、ふだんは水のありがたみをそれほど感じないで暮らしています。六月一日から七日は水道週間です。この機会にいま一度、暮らしの中の水について考えてみましょう。

水を使う

一日一人181ℓ

電気やガスに比べて、水の使い方には無とん着な面がわたしたちにあるようです。ちょっとした工夫と努力で節水できる余地が、まだまだありそうです。



・電力料金、薬品代、修繕料など
・職員給与費 五十五円
・五十七年度決算見込み額 三十七円

料金でまかなう

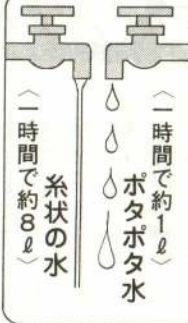
水道事業

皆さんの生活になくてはならない水を、毎日お届けしている水道事業の経営は、市の会計から独立した企業会計で運営されています。そして事業に必要な費用のほとんどは皆さんからいただく水道料金でまかなわれています。

ところが、給水人口の増加に伴って水の使用量も増え、水を確保するため二次拡張工事も行われ、膨大な費用がかかっています。また、薬品代や物件費、施設の拡張工事費借入金の支払利息、減価償却費などの経費が年々高くなってきています。

こうしたなかで、日常生活に欠かせない水を安全、確実に送り続けるため、厳しい財政のなかであるゆる経費の節減と合理化を行い、懸命の努力をしていますが、水道事業の台所は依然として苦しい状態になっています。

こんなムダが



水道相談所を開設します

六月四日には「水道相談所」を開設します。水道に関することならなんでもご相談ください。とき・6月4日午後1時～4時 ところ・いとくショッピングセンター前、正札竹村前

市長の対話ノート



No. 68

あらためて防災を

二十六日の日本海中部地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。東北市長会に出席のため仙台におり東北建設局長と用談中の出来事で、早速連絡をとりましたが電話は不通、市庁舎に向い午後一時過ぎ収入役から連絡が入り安心いたしました。そんな関係で見舞いの遅れましたことをお許しくください。

お陰様で人身事故もなく、被害も心配した程でなかったことを、不幸中の幸いと思っております。

被災なされました皆様には、特に住宅対策、道路、側溝等環境対策は県とも連絡をとり万全を期しておるところであります。どうぞ気を落さないで復興のため頑張ってくださいと存じます。

それにつけても、この経験を今後の防災に十分に生かさなければなりません。特に宅造に当っては地質調査資料を提示させるとか、水道管敷設には地質を配慮するなど、事前対策があれば被害を防ぐか、最少限度にとどめることができるはずであります。

又地震に対する行動対応も、今回はお屋であつたから良かったものの、最悪を想定した訓練を含めた行動対応を確立しなければなりません。「のど元過ぎれば……」でないよう防災に備えなければなりません。

伊山健治郎